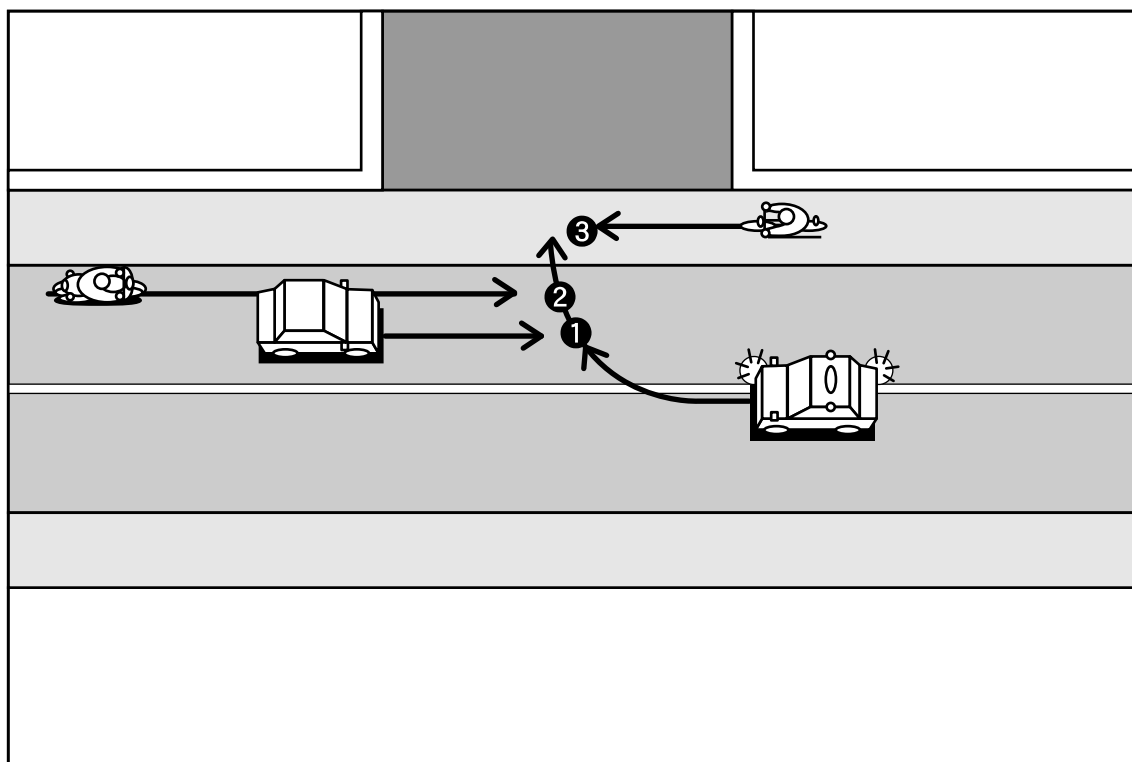


〔タクシー４〕 右折して営業所へ



1. 主な危険要因の例

- ① 対向車が接近しているので、このまま右折すると、対向車（乗用車）と衝突する危険がある。
- ② 対向車（乗用車）の通過直後に右折をすると、その後方を走行している二輪車と衝突する危険がある。
- ③ 対向車より先に右折しようと、急加速して強引に右折をすると、歩道を進行している自転車と衝突する危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 対向車が接近しているときは、右折をせずに、対向車の通過を待つ。
- ② 対向車の後方から二輪車が接近しているケースもよくあるので、対向車の通過直後に一気に右折をするのではなく、対向車の後方の状況を必ず確認する。
- ③ 歩道の状況にも目を配り、自転車や歩行者がいるときは、歩道の手前で一時停止して通過を待つ。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 右折時に対向車が接近しているときは、その通過を待つとともに、対向車の後方にも車がいるかもしれないと予測して、対向車の通過後に必ず後方の確認をしてから右折するよう指導をする。
- ② 対向車が大型車の場合は、その後方が死角になるため、対向車通過直後の右折は非常に危険であることを認識させる。
- ③ 歩道を横切るときは、歩道の状況を確認するとともに、歩道の手前で停止できる速度で進行するよう指導する。